

# 市議会だより

発行/下妻市議会 発行責任者/議長 廣瀬 榮 編集/広報広聴委員会  
〒304-8501 下妻市本城町2-22 電話(0296)43-2111(代) 内線1110~1112

### 今月号のあんない

定例会	2~3
一般質問	4~10
行政視察報告	11~12
第1回議員研修会報告	12
議会日誌	13
次回定例会予定	14



## やさしく かしこく たくましく 生きる児童の育成



### ～学校紹介～ 【大形小学校】



大形小学校は、全校児童124名、創立133回目を迎える歴史と伝統のある学校です。鬼怒川の雄大な流れと筑波山を一望できる自然豊かな環境のもと「㊦笑顔で ㊧がんばる ㊨大形小」をキャッチコピーとともに助け合えるあたたかい雰囲気の中、笑顔あふれる学校を目指しています。

今年度、特に力を入れてきた取組は、「全校で取り組むSDGs」です。鬼怒川環境保全ではジュニアスタッフを中心に春に咲くポピーの種付けやさつまいも掘り、クリーン作戦や生息する植物や生き物を調べるなど、地域のご協力のもと活動しています。また、授業では本校研究テーマ「筋道を立てて問題解決をする力を育てる算数科学習指導の在り方」から、表現し伝え合う活動の工夫を通して子どもたちの力を引き出します。

今後も大形小学校は、地域・保護者の皆様とともに、児童一人一人が輝く愛される学校を目指していきます。



# こんなことが決まりました

## 令和4年第3回臨時会 議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結 果
報 告 第31号	専決処分の承認を求めることについて 「令和4年度下妻市一般会計補正予算 (第5号)について」	食費等の物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯等に対し、茨城県独自の特別給付金を支給することが決定されたことを受け、その支給に係る経費及び新型コロナウイルスワクチンの接種期間が延長されたことに伴い必要となる経費について専決処分したもの	11.4
			承認
議 案 第38号	令和4年度下妻市一般会計補正予算(第6号)について	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額・強化として国が創設した「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、エネルギーや食料品価格などの物価高騰の影響を受けている市民や事業者を早急に支援するための電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費の計上等により2億7,651万7,000円を増額するもの	11.4
			原案可決

## 令和4年第4回定例会 議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結 果
報 告 第32号	専決処分の報告について「損害賠償について」	医療福祉費受給者証の誤送付に係る損害賠償による損害賠償金の支払について専決処分したもの	12.5
			報告のみ
議 案 第39号	下妻市部等設置条例の一部改正について	新たな行政課題に対し、柔軟かつ機動的に対応する組織を目指すため、新庁舎建設に合わせて、行政組織を再編するもの	12.15
			原案可決
議 案 第40号	下妻市職員の定年等に関する条例の一部改正について	地方公務員法等の一部改正を踏まえ、職員の定年を65歳に引き上げるほか、管理監督職勤務上限年齢による降任及び定年前再任用短時間勤務の制度を設けるなど、職員の定年等に関し、所要の規定の整備を行うもの	12.15
			原案可決
議 案 第41号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年に係る規定を整備するなど、関係する条例について所要の改正を行うもの	12.15
			原案可決
議 案 第42号	下妻市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	定年引上げ制度の施行に合わせて、高齢期職員の多様な働き方のニーズに応えるための制度として高齢者部分休業制度を導入するため、当該制度に関し必要な事項を定めるもの	12.15
			原案可決
議 案 第43号	下妻市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	令和4年人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定するもの	12.15
			原案可決
議 案 第44号	下妻市職員の給与に関する条例の一部改正について	令和4年人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、職員の給料月額及び勤勉手当の支給割合を改定するもの	12.15
			原案可決
議 案 第45号	下妻市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和4年人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、会計年度任用職員の給料月額の支給割合を改定するもの	12.15
			原案可決
議 案 第46号	下妻市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	令和4年人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、任期付職員の給料月額及び期末手当の支給割合を改定するもの	12.15
			原案可決
議 案 第47号	下妻市営住宅設置条例の一部改正について	市営新堀住宅及び市営本宿住宅について、老朽化により居住者の安全性の確保が困難となったことから、両住宅を廃止するため、条例を改正するもの	12.15
			原案可決

## 令和4年第4回定例会

議案第48号	下妻地方広域事務組合同約の変更について	下妻地方広域事務組合同約を変更することについて、関係市町と協議するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの	12.15 原案可決
議案第49号	公の施設(下妻市福祉センター「砂沼荘」)の指定管理者の指定について	指定管理者の指定期間終了に伴い、社会福祉法人下妻市社会福祉協議会を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの	12.15 原案可決
議案第50号	市道路線の廃止について	用途廃止に伴い高道祖地内1路線を廃止するもの	12.15 原案可決
議案第51号	土地の処分について	長塚地内の市有財産売買に係る契約について、議会の議決を求めるもの	12.15 原案可決
議案第52号	令和4年度下妻市一般会計補正予算(第7号)について	ふるさと納税推進経費の増額等により6億1,119万1,000円を増額するもの	12.15 原案可決
議案第53号	令和4年度下妻市水道事業会計補正予算(第2号)について	収益的支出において、動力費を2,249万5,000円増額し、資本的支出において、工事請負費を9,500万円増額するもの また、令和2年度から令和4年度までとしていた継続費の期間を令和5年度まで延長するもの	12.15 原案可決

### 人事議案

議案第54号	下妻市教育委員会委員の任命について	現委員の青木明美氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に任命することについて、議会の同意を求めるもの	12.15 同意
--------	-------------------	--	-------------

### 議員提出議案

議員提出議案第1号	下妻市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	長期にわたり議会を欠席した議員の報酬の取扱いについて定めるなど、所要の改正を行うもの	12.15 原案可決
-----------	-------------------------------------	--	---------------

### 請願

請願受理番号第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	豊かな子どもの学びを保障するため、中学校での35人学級を早急に実施することなどを求める意見書を国に提出することを求めるもの	12.2 趣旨採択
-----------	---	---	--------------

### 令和4年第4回定例会 賛否が分かれた案件

事件の番号	浅野通生	木村穂摘	鈴木牧	端茂樹	宇梶浩太	矢島博明	岡田正美	塚越節	程塚裕行	斯波元気	小竹薫	廣瀬榮	原部司	須藤豊次	山中祐子	増田省吾	田中昭一	平井誠	篠島昌之	結果	
請願受理番号第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

※除斥とは、自己の一身に関する事件について議事に参与できないこと

※議長(廣瀬 榮)は採決に加わりません



令和四年第四回定例会

一般質問通告書

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、一般質問の時間を60分から40分に短縮して行われ、12名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。要旨は、次のとおりです。

一般質問の  
YouTube録画配信



一般質問者の氏名・項目は  
次のとおりです。  
(通告順)

1 岡田 正美 議員

- 1 自治会住民の高齢化で道路側溝清掃や道路雑草処理は困難になるので、その対策について

2 原部 司 議員

- 1 高度情報化社会に即したデジタル化に向けた行政サービスについて
- 2 国が進めているスマート農業について

3 平井 誠 議員

- 1 生活困窮者対策とプレミアム付商品券について
- 2 消費税インボイス制度について
- 3 市民文化会館について

4 須藤 豊次 議員

- 1 農業の振興について
- 2 ビアスパークの管理運営について
- 3 都市計画変更による中心市街地活性化について

5 斯波 元気 議員

- 1 サンビーチの現状
- 2 子育て相談の総合窓口について
- 3 性的マイノリティ支援策について
- 4 置き配バックオキッパの市民提供の提案

6 塚越 節 議員

- 1 下妻駅「自由通路」改修並びに駅中の賑わい創出について
- 2 コロナ禍が引き金とされる不登校児童、生徒の現状について

7 山中 祐子 議員

- 1 防災への取組について
- 2 ヘキサホールきぬについて
- 3 「道の駅しもつま」について

8 宇梶 浩太 議員

- 1 土地の登記簿・課税台帳等を調べても、所有者がわからない土地に生えている竹木の伐採と除草について、市の関わり方、方針について伺う。

9 端 茂樹 議員

- 1 公共施設の跡地利用について

10 木村 穂摘 議員

- 1 学校の統合について

11 鈴木 牧 議員

- 1 保育園・幼稚園におけるバス送迎の安全管理について

12 矢島 博明 議員

- 1 新庁舎開庁後の公共施設の使用について

※インターネット映像配信サービス「YouTube」を利用して一般質問の録画配信をしております。

下妻市議会 録画配信

検索





岡田正美 議員

【二括方式】

**自治会住民の高齢化で道路側溝清掃や道路雑草処理は困難になるので、その対策について**

**質問**

各自治会の協力による道路側溝清掃等は高齢化の進展により困難になることが予想される。この対策と奨励金等について、また、自治会の対応範囲を超えるような土砂が堆積し、機能低下した道路側溝の清掃について、見解を伺う。

**答弁**

現在、市で管理する道路側溝は約387kmある。雨水排水のため整備されている道路側溝は、家庭からの雑排水処理水の排水先でもあるため、自治会等にも清掃の協力をいただいている。市では、幹線となる大きな側溝、道路の横断暗渠部分等、自治会等の清掃が困難な箇所や、大雨による冠水対策が必要な箇所の側

溝清掃を実施し、自治会等の清掃の際には、バキュームカー等の貸出や、汚泥の処分費用を負担している。現在、奨励金の制度はないが、支援対策の一環として調査研究していく。

自治会の対応範囲を超えるような土砂が堆積し、機能低下した道路側溝の清掃については、昨年度は業者委託により、15件、延長約1kmの清掃を行い、約66tの汚泥を処分し、約5百万円の費用を要した。また、自治区内でもなく、幹線道路でもない道路側溝で、排水機能が低下している場所については、市で清掃を実施しているが、清掃委託及び汚泥処分費には多額の費用を要するため、早急に対応ができない場合もある。今後、計画的に実施できるよう、財源確保も含めて検討していく。



自治会等の協力により清掃が行われている道路側溝



原部 司 議員

【二括方式】

**高度情報化社会に即したデジタル化に向けた行政サービスについて**

**質問**

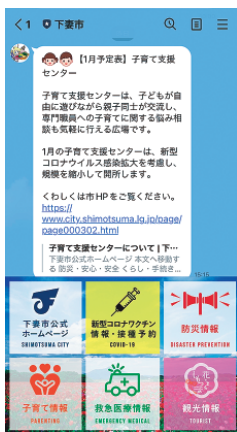
地方自治体や企業が主体となった特定エリア内の5GネットワークのWiFiFi等の環境整備や、情報アプリ等での市民への情報発信のための施策を伺う。また、道路の破損状況等を市民が報告できるような各種情報等のアプリの導入を提案するが、見解を伺う。

**答弁**

WiFiFiの設置については、これまで市役所庁舎、道の駅しもつま等の施設単位で整備を行ってきた。5Gは、防犯カメラ、自動運転、教育等様々なサービスでの活用が見込まれ、新たなビジネスチャンスの創出や交流人口の増加につながる方策の一つとして期待されている。5G

リア整備についても、国が進めるデジタル田園都市国家構想や基地局整備の進捗状況を踏まえ、民間活力の導入も視野に入れ、研究を進めていく。

市民への情報発信施策については、現在、市ホームページの他、ごみ分別アプリや下妻市防災アプリ、ママサポしもつまアプリ等の専用アプリや、その他SNSを活用している。SNSの中でもLINEは約1万8千人の登録者数があり、極めて有効なものと考えている。道路補修や各種情報等のアプリの導入については、さらなるLINEの利活用として、道路や公園遊具の破損状況を市民が報告できる機能や、パブリックコメントも提出できるようにする等、検討を進めている。



市公式LINEのさらなる利活用について検討していく





平井 誠 議員

【二括方式】

### 生活困窮者対策とプレミアム付商品券について

**質問** 本市では過去2回、今回同様のプレミアム付商品券が販売されたが、2回とも売れ残りがあり、また、現金が用意できないため買わないという話を何人かから聞いた。今回のプレミアム付商品券の売上実績と、今後の生活困窮者に対する対応策について伺う。

**答弁** しもつまエール2022 2プレミアム付商品券事業は、物価高騰等による市民生活の支援と、地域経済の活性化を目的とし、5千円で8千円分の商品券を1世帯当たり2冊まで、11月から3か月間、引換販売並びに市内事業所で利用できる事業である。さらに、子育て世帯には、1冊8千円分のプレミアム付商品券を市内在住の高校生までの児童生徒に

対し1人1冊、無料配付している。販売実績については、事業を開始して間もないため、各販売所から実績データが集計できていない。生活困窮者に対する対応策については、生活困窮者自立支援事業として、生活困窮者自立相談事業及び住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、家計改善支援事業を下妻市社会福祉協議会へ委託している。また、11月末より、電力や食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、低所得者世帯を対象に、1世帯当たり5万円を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業を開始した。今後も既存の制度を活用し、生活困窮者の適切な支援に努めていく。



市民生活を支援するために今年度も実施されたプレミアム付商品券発行事業



須藤豊次 議員

【二問一答方式】

### 農業の振興について

**質問** 農業の振興には、魅力ある農業、儲かる農業を実現すべきと考えるが、農地活用体制づくりと儲かる農業の推進、水稻農家への支援について、見解を伺う。

**答弁** 農地活用体制づくりについては、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止及び解消、新規就農並びに企業参入の推進に関し、農政課と農業委員会が連携し取組んでいる。また、農地の貸付希望があった場合には、人・農地プランを基に、新たな担い手への貸付を進めている。

儲かる農業の推進については、農業の発展には欠かすことのできない課題であると認識し、水稻地区での圃場整備事業や、農産物のブランド化の推進、市独自の補助

事業の創出や国・県等の補助事業の推進等、産地育成にも取組んでいる。

水稻農家への支援については、これまでも産地づくり対策助成金を活用し、飼料用米等の作付農家へ、作付加算金を助成している。また、イネ縞葉枯病対策として、県と連携し、希望者へ農林航空防除を実施し、安定した米の収量確保に努め、今年度は新たに、育苗箱施用剤の使用に対し助成を行い、イネ縞葉枯病の根絶に向けた取組を強化している。その他、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用した次期作支援事業を創設し、次期作への生産意欲向上を図っている。



農地の集積・集約化の推進に取り組んでいる





斯波 元氣 議員  
【一問一答方式】

子育て相談の総合窓口  
について

**質問** 新庁舎の建設に合わせ、  
た行政機構の見直しを踏  
まえ、子育て相談の総合的な窓口  
はどこか伺う。また、新庁舎に、  
その総合窓口の看板設置を行うか  
行う場合は何と表記し、どの部署  
に設置するか伺う。

**答弁** 子どもとその家庭、及  
び妊産婦を対象とした子  
育て相談窓口は、保健センター内  
の子育て世代包括支援センターと  
家庭児童相談室を含めた相談体制  
の強化として、本年度から子育て  
支援課内に設置した、子ども家庭  
総合支援拠点で対応している。子  
育て世代包括支援センターでは、  
妊娠期から子育て期にわたる総合  
的相談や支援を行い、対象者は主  
として妊産婦及び乳幼児並びにそ  
の保護者になる。子ども家庭総合



相談窓口がどこなのか来庁者にわかりやすい  
看板等の設置や表示を検討していく

支援拠点では、家庭児童相談はも  
とより、子育て家庭への必要な支  
援を行うため、子ども家庭支援全  
般に係る統括的な業務を行い、支  
援対象者は、市内に居住する全て  
の子ども及びその家庭等となる。  
総合的な相談窓口は、子育て支援  
課となるため、個々のケースの支  
援内容に応じ、関係各課、関係機  
関等にスムーズにつなげ、情報共  
有と連携を行い、適切な対応に努  
めていく。  
看板等の表記名や設置物につい  
ては、新庁舎建設の担当課である  
財政課と協議を行い、市民の方々  
にわかりやすい設置や表示を検討  
していく。また、設置する場所は、  
子育て相談の総合窓口である子育  
て支援課となる。

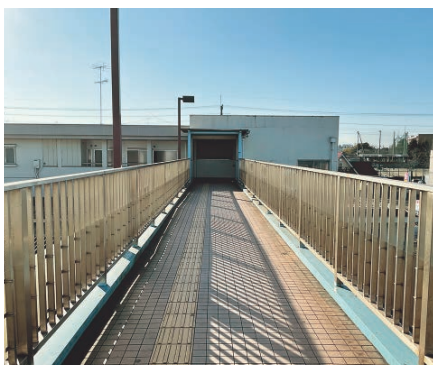


塚越 節 議員  
【一問一答方式】

下妻駅「自由通路」改  
修並びに駅中の賑わい  
創出について

**質問** 下妻駅の自由通路は市  
の管理か、移設改修等の  
計画はあるか伺う。

**答弁** 下妻駅の自由通路であ  
る「下妻跨線橋」は、市  
が管理する歩道橋であり、平成27  
年度に跨線橋の橋脚のひび割れ補  
修等の補修工事を実施し、安全面  
の確保に努めている。また、橋梁  
長寿命化修繕計画にも位置付けら  
れる「下妻跨線橋」を有するコミュ  
ニティスペースとして活用するこ  
とを提案するが、見解を伺う。



駅構内につながる構造となっている下妻跨  
線橋

れ、平成29年度の橋梁点検では施  
設の安全性に問題はないとの報告  
を受けている。本年度は5年に1  
度の橋梁点検の年であり、その結  
果によっては部分的な補修工事も  
考えられるが、現時点では下妻跨  
線橋の移設や全面的な改修等の計  
画はない。  
下妻駅は市の玄関口であり、市  
としてもその重要性は十分認識し  
ている。止まり木機能については、  
駅に必要な機能として、駅利用者  
の利便性や快適性の向上につながる  
ものと考えられるが、関東鉄道  
株式会社と市が連携した止まり木  
機能のスペースの設置は、将来的  
に駅舎や駅前西口広場等の改修計  
画を開始する際に併せて、関東鉄  
道株式会社と協議していきたいと  
考えている。





山中祐子 議員

【二括方式】

防災への取組について

質問

災害時に役立つ行動をスポーツとして体験する防災スポーツを、子どもから大人まで幅広い世代で体験してもらうため、イベント等に取り入れて実施できるか伺う。

また、災害時の状況把握等に活用するとして予算化された、ドローン活用事業の職員による操縦部隊であるスカイパイロットの活動状況を伺う。

答弁

防災スポーツについては、幅広い世代に防災に関心を持ってもらい、いざという時に役立つことを身につける上で、効果のある取組の一つであると認識している。本市では、11月に実施した総合防災訓練で、火事だー大声体験や浮き輪投げ体験等の体験コーナーを設置し、幅広い世代の方に防災に役立つことを体験し



令和4年11月に実施された市総合防災訓練の様子

ていただいた。今後も、スポーツの要素を取り入れ、楽しく学び体験できる機会の提供に努めていく。本年5月に結成したスカイパイロットについては、現在職員12名で組織し、導入した公用ドローン2機は、災害時の活用に備える他、平常時は市の各種事業に活用し、本年度は、ポピュラー等を撮影したシテンプロモーション動画の制作や、圃場整備等の進捗状況資料の写真撮影、総合防災訓練で災害時の情報収集訓練等に活用した。今後も、災害時の状況把握や災害現場での音声アナウンスの他、シテンプロモーション、公共施設の点検等、積極的に活用していく。



宇梶浩太 議員

【一問一答方式】

土地の登記簿・課税台帳等を調べても、所有者がわからない土地に生えている竹木の伐採と除草について、市の関わり方、方針について伺う。

質問

所有者不明の土地に生えている竹木の伐採と除草について、市の対応状況と、草が代わりに伐採・除草した際の所有者に対する費用の求償状況について伺う。

答弁

本市では、雑草等が繁茂し、かつ放置されている空き地の所有者に対し、「下妻市空き地の除草に関する条例」に基づき、生活環境課が助言・指導している。本条例は、宅地化された状態の土地で、現に人が使用していない土地に繁茂する雑草を対象とし、竹木等については、本条例の適用外となるため、竹木等の伐採については当事者間での問題解決をお願いしている。また、本条

例の中で行政代執行の規定があるが、これまでに雑草等の繁茂により著しく公益に反する状況が発生したケースはなく、この規定を適用して行政代執行を行った事例もない。

しかし、近年、所有者がわからない土地の管理不全は全国的な問題であり、国でも所有者不明土地の利用の円滑化と適正な管理の確保を推進するための制度の整備を進めている。また、所有者不明土地の解消に向けた改正民法が令和5年4月1日から施行されるが、改正に合わせて、竹木の枝の切除及び根の切取りに関する要件も緩和されている。本市でも、これらの法令等の内容把握に努め、所有者不明土地の対応について調査研究していく。



全国的に問題となっている所有者不明土地





端 茂樹 議員

【一問一答方式】

公共施設の跡地利用について

**質問** 本市では少子化の進展により、市立幼稚園の統廃合による集約を図り、昨年度末で2園、本年度末にも2園、廃園となる。廃園後の跡地利用と、小学校の統廃合について見解を伺う。

**答弁** 本市が保有する公共施設については、平成28年3月に策定した、下妻市公共施設等マネジメント基本方針に基づき、令和28年までに公共施設の保有量を30%削減することを目標に掲げ、機能の集約や統廃合、複合化により、施設総量の削減を行ってきた。幼稚園の跡地利用についても、この方針に基づき、園舎を解体し、小学校の駐車場等として利用する方針を進めている。延床面積の削減が原則だが、今後も状況の変化を踏まえ、必要に応じて再検討を



閉園後、学童クラブとして利用されている旧豊加美幼稚園

行い、有効活用を図っていく。市立小学校の統廃合については、平成22年に下妻市立幼稚園及び小学校適正規模適正配置検討委員会から、下妻市立幼稚園及び小学校適正規模適正配置についての答申を受け、小学校は1学年平均15人以下、または複式学級ができる年度に統合の対象とするの基準が示されている。今後、令和10年度には、騰波ノ江小学校の児童数が80人となる見込みであり、なるべく早い時期に新たな適正規模適正配置検討委員会を立ち上げ、改めて学校の適正規模適正配置に関する検討を開始したいと考えている。



木村 穂摘 議員

【一括方式】

学校の統合について

**質問** 少子化の影響により、全国の自治体では、中小学校の統合や、その検討が進んでいる。未来を担う子どもたちの生きる力を育むために、学校教育が果たす役割を十分に発揮するには、学校規模は重要であると考えているが、本市の児童生徒数の推移と今後の見通し、学校統合について見解を伺う。

**答弁** 市立小中学校の児童生徒数については、30年前の平成4年度は5,403人で、本年度は3,124人、令和10年度には2,615人となる見込みである。統廃合については、平成22年に下妻市立幼稚園及び小中学校適正規模適正配置検討委員会から、下妻市立幼稚園及び小中学校適正規模適正配置についての答申を受け、小学校は1学年平均15人以下、ま



児童生徒が充実した学校生活を送れるよう、学校の在り方について検討していく

たは複式学級ができる年度に統合の対象とするの基準が示され、現在、騰波ノ江、総上、豊加美、大形の4小学校の児童数がこの基準に近づき、令和10年度には、騰波ノ江小学校が統合の対象となる見込みである。加えて、千代川中学校は、既に全学年で8学級となり、県の適正規模の基準である9学級以上を下回っている。今後の学校の在り方については、市民の皆様と一緒に考えていくため、広報しつまつま8月号から隔月で、学校の現状に関する特集記事の掲載もしているが、子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、広く意見を聞き、考えていく。





鈴木 牧 議員  
【二括方式】

保育園・幼稚園におけるバス送迎の安全管理について

**質問** 相次ぐ送迎バス置き去り事件を受け、国または県からの指導について、本市の幼稚園等の送迎バスの利用と安全対策について伺う。

**答弁** 現在、市内で送迎バスを運行しているのは、市立上妻幼稚園、市立ちよかわ幼稚園、認定こども園ふたば文化、認定こども園下妻いずみ幼稚園の4園になる。事件が起きた際に、県を經由して、厚生労働省、文部科学省、内閣府の連名で、保育所、幼稚園、認定こども園及び特別支援学校幼稚園における安全管理の徹底に関する通知やバス送迎に当たった安全管理に関する緊急点検及び実地調査の実施についての通知が発出された。これを受け、

緊急点検に関するアンケート調査への回答や実地調査を実施し、安全管理上の問題がなかったことを確認している。

また、本年10月に厚生労働省、文部科学省、内閣府の連名によりバス送迎に当たった安全管理の徹底に関する緊急対策「こどものバス送迎・安全徹底プラン」が取りまとめられ、所在確認や安全装置の義務付け、安全装置の使用に関するガイドラインの作成、安全管理マニュアルの作成、早期の子どもへの安全対策促進に向けた、子どもの安心・安全パッケージの4項目が示され、本市でも今後の安全対策の参考としていく。その他万が一、車内に取り残された場合に対応できるよう、クラクションを鳴らす方法等も指導していく。



バス送迎について、安全管理の徹底が図られるよう指導していく



矢島博明 議員  
【一問一答方式】

新庁舎開庁後の公共施設の使用について

**質問** 新庁舎開庁後の千代川庁舎の活用について伺う。また、下妻市民文化会館、下妻公民館の活用について、災害時には新庁舎が防災拠点となることから、このまま残す場合は、新庁舎の裏側の通路が狭く、トラック等の通行に支障をきたすと考えるが、見解を伺う。

**答弁** 千代川庁舎は、建築後45年が経過し老朽化が著しく、旧耐震基準の建物であり、耐震診断が未実施のため、活用するには耐震診断や大規模改修が必要となり、多額の費用を要する。また、鬼怒川の旧河道に位置するため、水害や地震時の液状化も懸念される。これらの条件や他の公共施設の状況等を踏まえ、今後検討していく。

下妻市民文化会館、下妻公民館の活用については、一昨年度より、改めて文化施設の在り方の検討を開始し、複合化して新設、大規模改修、公民館だけ残す、解体の4パターンを想定し、庁内での協議を進めている。未だコロナ後の社会が見通せない中、慎重に検討しているが、方向性については年度内に報告できるよう、市の財政状況等を含め総合的に判断していく。防災関連については、災害時、新庁舎には災害対策本部を設置し防災拠点となるが、機能が發揮できることを主管とし、災害の物資等を新庁舎に運ぶことは想定していないため、影響はないと考えている。



施設の在り方について、検討が進められている市民文化会館



# 行政視察報告

今後の議員活動に役立てていきます

## 総務委員会

●日程 令和4年11月1日～2日  
●内容

- ・まちなか再生への取り組みについて (富山県滑川市)
- ・シティプロモーションについて (富山県富山市)

滑川市では、まちなかに住む人を増やして、市街地の賑わいづくりと良好な住環境整備を図るため、「まちなか再生事業」を創設し、平成20年度から3つの事業を行っています。

まちなか住宅取得支援事業は、人口集中地区以外に居住する方が区内に住宅を取得する場合に補助金を交付する事業で、子どもがいる若い世帯の居住や市外からの転入を促すことに成功していました。

市街地空き地空き家活用支援事業は、まちなかでの小売業等の創業者に対し補助金を交付する事業で、趣のある古い街並みで多くの飲食店や小売店が開業し、たくさんの方が訪れる場所となっていました。

危険老朽空き家対策事業は、まちなかの老朽化した危険な空き家のうち、土地も含めて寄付された家屋を市が取り壊す事業で、件数は多くはないもの

の、住宅が密集している地域での安全の確保に役立っていました。

富山市では、シティプロモーションを推進するためには、市民一人ひとりが「わがまち」に対し愛着や誇りを抱く「シビックプライド」の醸成を並行して行うことが必要であり、ひいてはそれが市民からの情報発信や定住人口の維持、進学などで転出した若者のUターンなどにつながるという考えのもと、美しい都市景観の整備や、市民が街の魅力を再発見できる写真を用いたイベントなど、多様な事業に取り組んでいました。

両市の取組は、人口が減少していく中でまちなかに大変参考になるものでした。



総務委員会の視察の様子

## 議会運営委員会

●日程 令和4年11月7日～9日  
●内容

- ・道の駅くるくるなるとの運営について (徳島県鳴門市)
- ・ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業について (徳島県徳島市)
- ・みなとのもり公園について (兵庫県神戸市)

鳴門市は、鳴門大橋の開通により通過していつてしまふ観光客を市内に呼び戻すべく、令和4年4月に「道の駅くるくるなる」とをオープンしたほか、サイクリング事業を重点施策とし、四国の玄関口として民間団体などと協力しながら、イベントやPR動画によるシティプロモーションを行っています。

道の駅は、交流人口拡大と地域活性化を目的とする「四国ゲートウェイ推進事業」の基幹施設であり、物販や飲食施設だけでなく、展望デッキやジップラインが整備されました。道の駅には4カ月で50万人が来場し、年間売上目標額も超えることができたとのことでした。

徳島市は、中心地を流れる川を活用した「ひょうたん島川の駅ネットワーク

推進事業」を行い、市の最大の特徴である水の魅力を生かしながら、市民が市に愛着や誇りを感じられ、将来に希望が持てるまちづくりに取り組んでいました。県と一体となり川の駅・川の停留所を整備し、また、周遊船の運行や中州に架かる多くの橋をライトアップする景観整備などを行っています。周遊船はボランティア団体であるNPO法人が運行し、年間乗船者数はコロナ禍で落ち込んだものの、回復の兆しが見られるとのことでした。

神戸市では、「みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園)」を視察しました。中心地に整備された広大な公園には、スケートボードやバスケットボールコートだけでなく、60基の災害時用トイレや防災倉庫を備えた防災公園となっていました。

3市の取組は、市の魅力づくりや防災といった重要施策に大変参考になるものでした。



議会運営委員会の視察の様子



## 広報広聴委員会

● 日程 令和4年11月14日、15日

- 内容
- ・「こんにちは須坂市議会です」の編集、発行等について（長野県須坂市）
  - ・議会だよりの編集、発行等について
  - ・議会と語る会について（長野県小諸市）

須坂市議会では、会派の構成人数の按分で選出された議員（委員）から成る「市議会広報特別委員会」が自主編集を行い、レイアウトの検討や校正に日数と時間をかけ、議会だよりを作成していました。また、各ページにインデックスを付けたほか、ユニバーサルデザインフォントを使用し、印刷用紙やインクについても見直しを行うなど、積極的に紙面の改善に努めています。市民に、より深く議会について知ってもらうために、市のマスコットキャラクターを使った分かりやすいQ&Aを掲載するなど、内容についても様々な



広報広聴委員会の視察の様子

工夫を凝らしていました。小諸市議会では、表紙写真の企画と選定を、議員が持ち回りで行っているほか、市民が紙面に登場する欄を設け、できるだけ多くの市民に読んでもらう工夫をしていました。また、区長会との共催による「議会と語る会」を、各地区を巡回しながら毎年開催し、市政に対する市民の意見を聞いていました。両市議会とも、説明を受けた後は活発な質疑や意見交換が行われました。

## 茨城県市議会議長会 第1回議員研修会報告

令和4年11月21日、22日、茨城県市議会議長会主催による、令和4年度第1回議員研修会が、筑西市のダイヤモンドホール及びびざ・ヒロサワ・シティで開催されました。下妻市議会からは浅野通生議員、木村穂摘議員、鈴木牧議員、端茂樹議員、宇梶浩太議員が参加しました。この研修会では、常磐大学総合政策学部法律行政学科学科長・教授、吉田勉氏を講師として、「議会の権限行使と行政関与のあり方」最近の自治体議会事情も踏まえて」というテーマで講演が行われました。



## 程塚智則議員辞職

去る令和4年10月31日、程塚智則氏が議員を辞職されました。程塚智則氏は、令和元年12月に下妻市議会議員に初当選し、総務委員会副委員長長の要職に就かれ、活躍されました。市議会議員として、優れた識見と卓越した政治手腕を遺憾なく発揮され、地方自治の発展に大きく貢献されました。





## 下妻いずみ幼稚園が 議場見学に来ました

令和5年1月27日(金)に下妻いずみ幼稚園の園児の皆さんが議場見学に来てくれました。説明を聞いた後は、議長席に座ったり、議員席で実際にマイクを使って質問をしたりしました。議場モニター操作盤に興味を示すなど、議場の様子を楽しんでいました。

園児の皆さんからは、「市をよくするために」や「SDGsの取組について」など、たくさん質問がありました。下妻市議会では、市民の皆さまの議場見学をお待ちしています。見学の際は、事前のお申し込みをお願いします。(状況により見学をご遠慮いただくことがあります。)



下妻いずみ幼稚園の園児の皆さん

## 行政視察来訪

(富山県砺波市議会)

●日程 令和5年1月23日

●内容

・市街地再生によるにぎわいのあ  
る街づくり(都市再生整備計画事  
業、地方再生コンパクトシテイ  
モデル事業について)

富山県砺波市議会産業建設常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。視察内容に基づき、都市整備課より本市の取組について説明後、活発な質疑応答が交わされました。また、「下妻市観光交流センターさん歩の駅サン・SUNさぬま」と「下妻市にぎわい広場Waiaidームしもつま」を視察しました。



砺波市議会産業建設常任委員会の皆様

## 議会日誌

### 11月

- 1～2日 総務委員会行政視察  
(富山県滑川市・富山市)
- 4日 第3回下妻市議会臨時会  
議会運営委員会
- 7～9日 議会運営委員会行政視察  
(徳島県鳴門市・徳島市・  
兵庫県神戸市)

- 10～11日 茨城県西市議会議長会第  
2回定例会

- 14～15日 広報広聴委員会行政視察  
(長野県須坂市・小諸市)

- 18日 全員協議会  
文教厚生委員会

- 21～22日 茨城県市議会議長会第1  
回議員研修会

- 28日 議会運営委員会

- 5日 本会議 議案質疑

- 6日 文教厚生委員会

- 7日 経済建設委員会

- 8日 予算特別委員会

- 12日 本会議 一般質問

- 13日 本会議 一般質問

- 15日 本会議 委員長報告、質  
疑、討論、採決、閉会

- 第1回広報広聴委員会

### 1月

- 13日 茨城県西市議会議長会事  
務局長会議

- 18日 茨城県市議会議長会事務  
局長会

- 19～20日 第2回広報広聴委員会

- 23日 茨城県市議会議長会第2  
回定例会  
行政視察来訪  
(富山県砺波市議会)

### 12月

- 2日～15日

- 第4回下妻市議会定例会  
本会議 議案上程、説明



## 新庁舎の議場について 一足早くご紹介します



建設が進められている新議場内の現在の様子

令和5年5月の市役所新庁舎開庁に向け、議場の建設が着々と進んでいます。新議場では、電子採決システムが導入され、議案等に対する議員の賛否態度が即時にモニターへ表示されます。傍聴席側にもモニターが設置されますので、各議員の賛否態度が傍聴者にも分かりやすく、迅速かつ正確に伝えることが可能となります。

また、傍聴席はスロープや車いすスペースを設けるほか、難聴者の方に音声はつきり聞こえる装置（ヒアリンググループ）を設置し、バリアフリー対応となります。

引き続き、市民の皆様に分かりやすく、開かれた議会を目指してまいります。

### 次回 第1回定例会予定

月 日	曜日	日 程
3月1日	水	本 会 議 開 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
3月2日	木	本 会 議 (議案質疑) ----- 常任委員会 (総務委員会)
3月3日	金	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
3月6日	月	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
3月7日	火	休 会 予算特別委員会(補正予算・当初予算)
3月8日	水	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月9日	木	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月14日	火	本 会 議 一般質問
3月15日	水	本 会 議 一般質問
3月20日	月	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長 報告・質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

### 議会を傍聴しませんか

令和4年第4回定例会では、10名の方の傍聴がありました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴を58席から30席とさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎3階議場までお越しください。

また、本会議開催中は、本庁舎1階市民ホールのモニターで中継を行っています。(状況により傍聴をご遠慮いただくことがありますので、ご了承ください。)

なお、議場内での飲食・雑談等をご遠慮ください。

次回の市議会だよりの発行は令和5年5月10日(水)の予定です。

議会だよりへのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

#### 問合せ先

議会事務局(0296)43-2111 (内線 1111・1112)



### 編集後記

明けましておめでとうござい  
ます。

今年卯年です。「卯」の字形は門が開く様を表し、「冬の門が開き、これまでの努力が花開いて実り始める」といった明るい意味があるそうです。

旧年中は、ここ数年来の新型コロナウイルス感染症の流行だけでなく、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安、生活必需品の値上げなど、多くの変化がありました。

これらの困難を乗り越えて門を開き、ウサギのように元気よく飛び跳ねることができるようになることを願わずにはられません。

私たち市議会議員も、新しい年を迎え、心を新たに市政の発展に努めてまいります。  
本年もよろしくお願い申し上げます。

